

理事会だより

4月27日(月)に開催された理事会にて承認および確認・報告がされた主な議題は次の通りです。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定款第32条に基づいて対応しています。

決まったこと

1. 県外在住組合員の加入承認の件
2. コープ北陸第24回通常総会代議員の選出および役員候補推薦の件
3. 石川県生協連第55回通常総会代議員の選出および役員候補推薦の件

確認・報告されたこと

1. 2019年度決算(案)と剰余金処分案について
2. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う総代会運営について



新型コロナウイルス感染症拡大に伴うお知らせをホームページでもご案内しています。

コープいしかわ

検索

コープいしかわの姿

2019年4月1日～2020年3月31日

- 宅配事業供給高(億円)
予算:138.8/実績:134.0/前年:132.9
- 店舗事業供給高(億円)
予算:29.4/実績:30.3/前年:29.1
- 経常剰余金(億円)
予算:2.1/実績:2.2/前年:2.3
- 出資金:62億8,810万円(↓4億7,156万円)
- 組合員数:157,150人(↓2,813人)
(カッコ内は前月比)

3月度安全確認情報 (2月21日～3月20日 検査結果判明分)

検査名	検査実施数
新商品事前	272品
定例企画商品	278品
残留農薬検査	6品
アレルギー検査	3品

- 組合員の環境貢献度(4月度)
商品カタログ回収率 **65.7%**
注文書袋・保冷箱内袋回収率 **28.0%**

CO-OP 掲示板

新配送センター 加賀センターを6月1日より 開設します



加賀センターの主な配送エリア

山中、山代、南郷、金明、湖北、橋立、錦城、錦城東、勅使、庄、緑丘、三木、三谷 (小学校区)
6月1日(月)以降もお問い合わせ先の変更はありません。

コープいしかわコールセンター

TEL.0120-759-853

(月～金)8:30～20:00

(土)8:30～14:00

もっと地域の暮らしに寄り添って ～加賀センター開設の目的～

これまで加賀地域へは、小松センター(小松市矢崎町)から出発してお届けしていました。加賀センター(加賀市上河崎町)を開設することで、小松センターから加賀地域への配送は、これまでと比べて、配送トラック1台あたりの移動距離が1日18km短くなり、時間にして約30分弱の短縮ができるようになりました。

配送センターと配送地域が近くなることで、より地域に根差して、組合員の暮らしに寄り添ったお役立ちやご提案をできるようになることを目的としています。



コープいしかわ20周年記念企画 宅配事業編 その①

班(グループ)と個人宅配 進化の歴史

事業や活動別に
コープいしかわの
20年を振り返る連載です



- 2000年 コープいしかわ誕生
- 2002年 妊婦、1歳未満の子どもがいる世帯の宅配料8回無料の赤ちゃん宅配開始
- 2003年 能登エリアで個人宅配開始
- 2005年 高齢者のいる世帯の宅配料を減額するほほえみ宅配開始
- 2006年 宅配料200円(税抜)に値下げ
赤ちゃん宅配の宅配料1年無料開始
- 2007年 利用高に応じて宅配料が変動するシステムを導入
3歳以下の子どもがいる世帯の宅配料が無料となるすくすく宅配開始
- 2008年 ほほえみ宅配の基準年齢を70歳から65歳に引き下げ
- 2010年 のと北部センター開設
- 2012年 輪島北部へ配送エリア拡大
- 2013年 能登全域に個人宅配エリアを拡大
- 2014年 すくすく便の無料期間を小学校1年の9月まで延長
- 2016年 宅配料100円(税抜)に値下げ
65歳以上の世帯などの宅配料が無料となるおもいやり便導入
- 2017年 班ウェルカムクーポン、お当番ありがとうポイント、スマイルペア班(構成条件付き2名班)、班で山分けお楽しみプレゼント実施
- 2018年 班結成人数が3名から2名に地域担当制導入
- 2020年 加賀センター開設

宅配料の値下げ、まずは子育て世帯や高齢者の世帯から

最初の宅配料は1週あたり350円。子育て世帯や高齢者の世帯、介護認定の方がいる世帯などを対象にして、宅配料を減額または無料にするサービスが対象期間を広げるなど段階的に進んでいきました。

〈宅配料の値下げ〉



能登エリアでのお役立ち拡大

2010年度3月、奥能登の新たな配送拠点となる「のと北部センター」を穴水町に開設後、輪島北部など配送エリアを広げることができ、能登の一部で実施していた個人宅配を能登全域に拡大しました。



やっぱり班が好き

4人の班(グループ)です。品物を分ける際、いつも注文しているものや「意外とこれ、おいしいよ」など情報交換しています。「ずっとずっと利用していきたいね」と話し合っています。

「班で山分けお楽しみプレゼント」感想より



班も個人宅配も、みんなが安心して利用できるように

個人宅配利用の組合員が増える一方で、班のつながりを大切に、組合員どうしの交流や助け合いを応援する取り組みが生まれました。場所の提供や班のお世話をしている方に感謝の気持ちとしてポイント進呈をする「お当番ありがとうポイント」、商品を班のみんなで分け合える「班で山分けお楽しみプレゼント」などです。

もっと地域に! 地域担当制導入

2018年度、基本的に決まった地域を一人の職員が配送する地域担当制を導入しました。移動距離の短縮による配送効率の向上とともに、地域や組合員どうしのつながりを深める取り組みが進みました。2020年6月、加賀センターができました。これまで小松センター(小松市)からお届けしていた加賀地域への移動距離・時間を削減でき、暮らしに寄り添ったお役立ちがさらに可能になります。

班(グループ)と個人宅配の組合員人数



機関紙企画検討委員が考える 未来予想図

- 将来、配送トラックも自動運転かな
- 自分らしく生活できてる、それをコープが手伝ってくれる未来がいいな
- ドローンで配達していたりして
- 配達は変わらず職員の顔が見られる方がいいな